

list5.txt

入力:このプログラムに使うCMakeLists.txtを教えてください。

GPT:

Raspberry Pi PicoのPico SDKを使用してCプログラムをコンパイルするためのCMakeLists.txtファイルの基本的なテンプレートを以下に示します。これはSSD1306ベースのOLEDディスプレイを駆動するプログラムのビルドに適用されるものです。

```
cmake_minimum_required(VERSION 3.12)

# 名前をあなたのプロジェクトに合わせて変更してください。
project(oled_project C CXX ASM)

set(CMAKE_C_STANDARD 11)
set(CMAKE_CXX_STANDARD 17)

# PICO_SDK_PATHを正しいパスに設定してください。
# この変数は、環境変数としても設定できます。
#list(APPEND CMAKE_MODULE_PATH
"/path/to/pico-sdk/external/pico_sdk_import.cmake")

include(pico_sdk_import.cmake)

# 必要なPicoライブラリを追加します。
add_executable(oled_project
    your_source_file.c
)

# ライブラリとのリンクを指定
target_link_libraries(oled_project pico_stdlib hardware_i2c)

pico_enable_stdio_usb(oled_project 1)
pico_enable_stdio_uart(oled_project 0)

pico_add_extra_outputs(oled_project)

# UF2ファイルを生成(Raspberry Pi Picoに直接ドラッグ&ドロップするためのファイル形式)
pico_set_program_name(oled_project "OLED Display Example")
pico_set_program_version(oled_project "0.1")

pico_set_program_url(oled_project "https://example.com")
```

こちらのCMakeLists.txtを使用する際は、以下の点を確認・変更してください。

1. projectの名前を適切に変更してください。
2. add_executable内のyour_source_file.cを実際のソースファイルの名前に変更してください。
3. 必要に応じて、リンクするライブラリやオプションを追加・変更してください。
4. pico_set_program_urlのURLはサンプルですので、適切なURLに変更するか、この行を削除してください。

このCMakeLists.txtを使用してプロジェクトをビルドする際、Pico SDKのセットアップおよびビルド手順に従ってください。